

アイコンストラクションに対応

ネット上で出来高管理

国交省工事では石川初利用

南建設（石川県志賀町）は6月初旬から、世界初のインターネットマシンコントロール機能を搭載したコマツのICT油圧ショベル「PC200i」を2台レンタルし、金沢河川国道事務所発注「H27能越道 小泉道路その5工事」（輪島市三井町）の現場で情報化施工を展開している。写真は9月末まで。

同現場では、コマツ石川（金沢市）古屋市の支援を受け、国土交通省及びコマツレンタル中部営業部スマが推進する「アイコンストラクション」に対応した。日々の進捗状況データは、コマツが構築したクラウドプラットフォーム「KomConnect（コムコネクト）」へ自動で送信・蓄積され、ネット上で容易に確認できる。コムコネクトは、石川県発注の工事で試験的に導入されたケースはあったが、国交省工事での利用は県内では初めて。



PC200iは、通信衛星を活用したバケットの刃先位置情報と設計3次元データを照合することにより、セミオートで制御される。従来のようなオペレー

タによる丁張りや施工状況の目視確認が省略できるため、1日当たりの施工量が増加し、工期短縮につながる。また、1日の掘削量を正確に測定し、作業終了後に一括してコムコネクトへデータを送信。夜中にコムコネクトのサーバで自動集計され、翌朝には現場で進捗状況をタイムリーに把握できる。

南建設(志賀町)

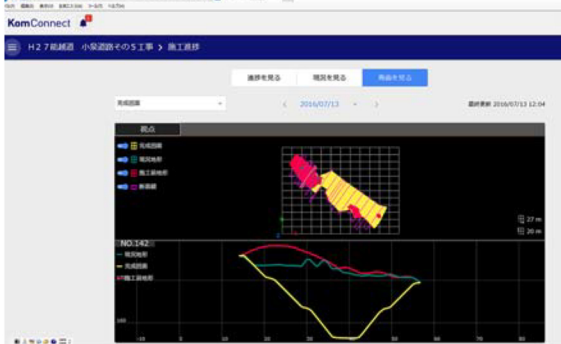
南建設の南裕基専務は「現場では発注者様から貴重なご助言を頂戴している。これからもアイコンストラクションの信息化施工に率先して取り組み、建設業界の新技术普及に貢献したい」と話している。

この現場では、4月にドローンを利用した写真測量で現況3次元データが作成されている。現在、転圧管理システム付き振動ローラー1台の

ほか、南建設が保有している従来型マシンガイダンス装備の油圧ショベル「PC200(MG)」及びマシンコントロール搭載のブル

ドーザー「D39PX(MC)」の各1台も補助的に稼働。南建設は今回の現場で利便性を痛感したことから「PC200i-10」の購入を決め、8月にもコマツ石川から納車される予定とこづ。

現場作業所で閲覧できる進捗状況管理画面



コマツグループが支援